

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	891 駐車場事業費	会計	07	駐車場特別会計
		款	01	駐車場事業費
		項	01	駐車場事業費
		目	01	駐車場事業費
基本 施策	66 文化・スポーツ施設などの公共施設を利用しやすいとする	細目	517	駐車場事業費
		細々目	01	駐車場事業費
行革大綱の重点事項番号		4		
担当部署	コード	550100		担当者
	名称	伊賀支所振興課		氏名
		連絡先	45 - 9111 (内線) 233	

対象(誰を、何を)	JR柘植駅利用者 JR新堂駅利用者	※対象件数
成果(どうする)	駅前に駐車場を確保し、駅利用者の利便性を図る。	
根拠法令・要綱等	地方自治法244条の2、伊賀市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例、伊賀市駐車場条例	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H21 事業 内容	駐車場の維持管理、使用料の徴収事務、駐車場用地の借り上げ	
	社会情勢 の変化等	
平成18年度より指定管理者による運営		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	指定管理
委託先	日本鉄道OB会柘植支部 (有)新堂駅管理商会
2 配置人員	7人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
月極利用台数(年間)		台	目標 815	目標 815	800	800
			実績 819	実績 785		
一日駐車利用台数		台	目標	目標	9,000	9,000
			実績 9,058	実績 8,759		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
駐車台数回転率	駐車台数÷駐車可能台数		%	目標 40	目標 40	37	37
				実績 37	実績 35		
利用者苦情解決率	利用者の満足度		%	目標 90	目標 90	90	90
				実績 90	実績 90		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	4,397	4,397	4,324	4,324				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	4,397	4,397	4,324	4,324				
一般財源	0	0	0	0				
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)	5,117	5,117	5,044	5,044				

判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)	
	必要 性	効 率 性
法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○	
国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有 効 性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達 成 度	当初設定した計画を「80%以上100%未満」実施している。 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	【計画に遅れが生じている場合、改善策】 新堂駅駐車場の利用促進
効 率 性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○ ○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	新堂駅駐車場の利用促進が課題です。なお、柘植駐車場において、休日祝日、1日預かりの駐車を断っている現状なのでこの対策が懸案事項です。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 指定管理導入により、駐車場事業の健全な運営

担当課長氏名	藤澤 義彰
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 駐車場利用者の利便性の向上のため適切な施設の維持管理に努める。
現時点における 課題、その他	駐車場事業の収益の維持、身体障がい者用駐車区画の検討
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何 を、どうする)	早急にJRの電化が必要である。